

株式会社長大 女性活躍推進法 一般事業主行動計画（第4期）

1. 計画期間

2022年4月1日～2024年3月31日（2年間）

2. 当社の課題

課題1：管理職に占める女性割合が2.3%であり、えるぼし取得の基準値（7.6%）と比較すると低く、男女問わず管理職を育成する風土醸成が必要である。

課題2：管理職で女性社員のロールモデルとなる前例が少ないため、女性社員が管理職に進むことをキャリア形成の選択肢の一つとして実感しづらい状況にある。

3. 目標

- ①管理職（課長級以上）に占める女性の割合を7.6%以上とする。
- ②女性の平均勤続年数を男性の平均勤続年数の70%以上にする。

4. 取組内容（2022年4月～）

取組1：仕事と家庭を両立するための支援

①両立支援制度の継続的な周知・利用状況報告

育児・介護・傷病等の社員を対象とした各種両立支援制度の継続的な周知および利用促進を図るため、利用状況を調査（年1回）、調査結果をイントラネットで報告する。

②働き方相談窓口のシステム改善

労働に関して社員が相談できる窓口となる「働き方相談窓口」について、その窓口機能をより使いやすく充実させるため、システム構築を検討する。また、働き方に関する問合せ内容をFAQシステムに反映し、問合せ対応を拡充する。

③育児休業取得促進・職場復帰支援プログラムの実施

休業後の円滑な職場復帰を支援するため、育児休業取得者に「育児休業職場復帰支援プログラム」（休業前後の面談・休業中の情報提供）を継続実施する。さらに、育児休業対象となる男性社員に対しても、事前に、育児休業制度の紹介を行い、男女問わず育児休業取得促進を図る。

④ライフスタイルハンドブックの改訂

「ライフスタイルハンドブック」（2021年改訂版）について、最新の規定に合わせ改訂を行い、イントラネットで公開する。また、新入社員（キャリア採用含む）に対しては冊子を配布する。

⑤両立支援制度の利用促進

仕事と家庭の両立を支援するために、各種制度の周知、利用促進を目的としたセミナー等を実施する。

⑥場所にとらわれない働き方を推進するための環境改善

テレワーク推進のため、サテライトオフィスの充実とともに、設備・環境の整備やペーパーレス化等を促進する。また、テレワーク時のコミュニケーションや作業の効率化を目的とした統一的应用導入について検討する。

取組 2：職場風土づくり

①更なる女性活躍に向けた交流会の継続開催

過去の成果を踏まえ、女性社員自らが企画し実施する女性社員交流ネットワーク（以下、「7C プロジェクト」という。）による「交流会」を継続的に開催する。

また、7Cプロジェクトの活動やこれまでに開催した交流会成果の報告や相互の考えの理解を深めるため、統轄部長・事業部長との意見交換会を開催する。

②全社員向け研修の実施・システムの整備

働きやすい職場風土づくり、個人の意識改革・相互の立場の理解を目的に、eラーニング等受講しやすいシステムを活用し、全社員向けの研修（ハラスメント等）を実施する。

③管理職研修の継続実施

管理職を対象とした教育研修を継続実施する中で、多様な働き方への理解、適材適所の作業分担（男女の固定的な役割分担解消を含む）等を把握することで、女性の活躍促進に関する理解を深める。

取組 3：女性社員のキャリア形成支援

①管理職育成を目的としたキャリア研修の実施

男女問わず管理職を養成する風土醸成を目的に、管理職昇格の前段階である中位階層の社員（資格Ⅱ上位）を対象としたマネジメント力を養成・強化する「階層別研修（キャリア研修）」を継続的に実施する。

②社員のキャリア研修

男女問わず管理職志向への意識醸成を目的に、中位階層の社員（資格Ⅱ下位）を対象に、仕事とライフイベントとの両立への不安を解消し、成長意欲を高める「階層別研修（キャリア研修）」を実施する。

また、全社員を対象とした業務のスキル向上・モチベーション向上を目的とした「スキルアップセミナー」等を検討し、実施する。

③キャリア懇談会の実施

女性中堅社員と女性若手社員で、キャリアや働き方（制度利用）について、意見交換の場を設けることにより、先輩社員の様々なタイプのロールモデルから自身の働き方やキャリア形成について考える機会を「7Cプロジェクト」で企画、実施する。

取組 4：ワークライフ・バランスの促進

①プライベート時間の増進

部門としての効率化等の取組みとともに、個人の意識改革や創意工夫により、残業時間削減や有給休暇を取りやすい環境をつくることで実労働時間を削減し、家庭や自己啓発のためのプライベートな時間を充実させる。

②ワークライフ・バランス活動の好事例紹介

社員の働き方の多様性を理解尊重してワークライフ・バランスを推進することを目的に、「7Cプロジェクト」より、好事例をイントラネット等で紹介する。